木更津市のオーガニックの取組

ORGANIC CITY
KISARAZU
未来につながるまち

【木更津市　人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例】
（通称オーガニックなまちづくり条例）　**2016年12月15日施行**

オーガニック

持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、
主体的に行動しようとする考え方

オーガニックなまちづくり

オーガニックをまちづくりの視点として、
地域社会を構成する多様な主体が一体となり、
本市を、人と自然が調和した持続可能なまちとして、
次世代に継承しようとする取組

【オーガニックなまちづくりの基本理念】

1．地域、社会、環境等に配慮し、
主体的に行動しようとする**人を育む**

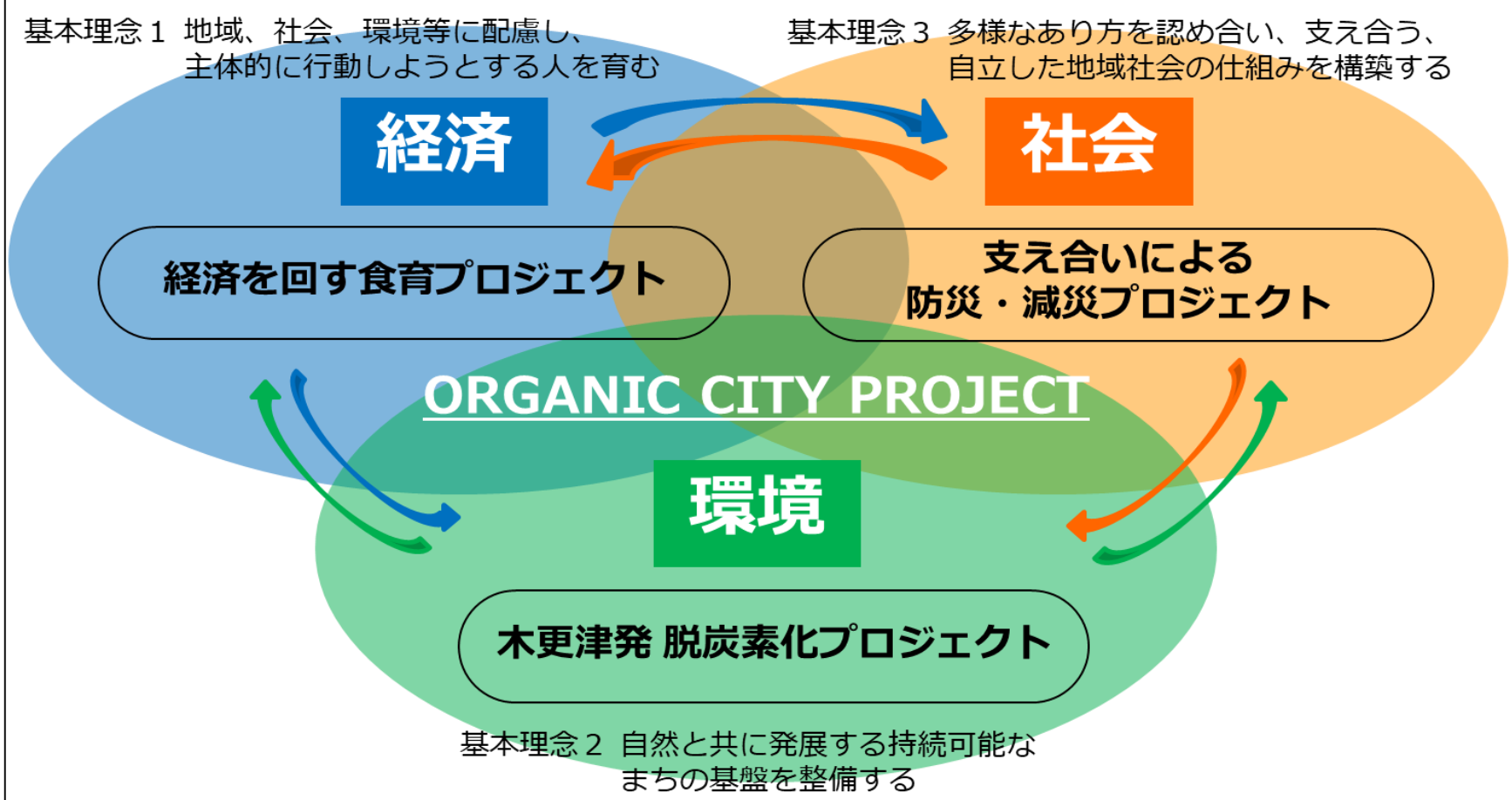
2．自然と共に発展する
持続可能なまちの**基盤を整備する**

3．多様なあり方を認め合い、支え合う、
自立した地域社会の**仕組みを構築する**

第２期オーガニックなまちづくりアクションプラン
木更津SDGs推進モデル　ORGANIC CITY PROJECT　の実行

＜2030年のあるべき姿＞

自然に寄り添い、学び、経済が循環する自立した共生社会



３つのプロジェクトを連携して進め、木更津ＳＤＧｓ推進モデルを形成

経済を回す食育プロジェクト

食育の推進

学校給食の
地産地消の推進

健康的な食生活の実践

地域食材に
親しむ機会の醸成

郷土料理等の
食に関する知識習得

(仮称)きさらづ食育
コンシェルジュの育成

域内消費の拡大

アクアコインの
普及促進

有機米の生産促進

農産物の
高付加価値化

有機JAS認証取得支援

環境保全型農業の推進

6次産業化の推進

木更津市産業・創業支援センター
らづ-Biz

産業・創業支援の充実

【目標】①地産地消な暮らしの定着
【目標】②安心・安全でおいしい木更津ブランドの確立

おいしい有機米を子どもたちに食べてもらうために

ORGANIC CITY KISARAZU 未来につながるまち

＜H28＞

「木更津産米を食べよう条例」

木更津産米や
加工品の消費拡大！！

＜H29＞ 「オーガニックなまちづくりアクションプラン」

○リーディングプロジェクト
「地元野菜を食べて循環・学校給食プロジェクト」

食育の推進・有機米の生産促進に向けた取組を支援！

＜令和元年度＞ 無農薬米栽培スタート！

専門家の技術指導 ⇨ ５名の生産者の協力（約1.8ヘクタール）

◎ 生産された無農薬米を学校給食へ提供

＜取組のねらい＞

① 安心・安全な「食」の提供

② 環境保全

③ 農業振興（高付加価値化）

④ まちのブランディング

有機米の生産促進に向けたロードマップ

- 木更津市では、週3.5回以上が米飯給食であり、市内30校の小中学校に有機米の学校給食を提供するにあたっては、**一日あたり最大約930kgが必要**。
- 学校給食に全量、有機米を提供するには、年間最大191日の給食×3.5日（米飯）÷5日（1週間）×一日あたり最大930kg＝**124,620kg（約125t）が必要**。
- 約125tの有機米を学校給食に提供するには、約35ヘクタールの栽培面積が必要。（反／7俵＝420kg（調整・精米を加味し収穫した約8.5割を給食に提供）420kg×85%＝357kg　124,620kg÷357kg＝349反（約35ヘクタール）

学校給食への有機米100%提供に向けて！

令和元年（2019）	令和2年（2020）	令和3年（2021）	令和4年（2022）	令和5年（2023）	令和6年（2024）	令和7年（2025）	令和8年（2026）	令和9年（2027）	令和10年（2028）	
1.8ha	（5.0ha） 5.5ha	（10.0ha） 15.4ha	（15.0ha） 20.0ha	（25.0ha）	（30.0ha）	（35.0ha）	（40.0ha）	（45.0ha）	（50.0ha）	計画 実績
約3t （2.7t）	約17.3t （14.4t）	約51.3t （46.3t）	84.0t （71.4t）	105.0t （89.3t）	126.0t （107.1t）	147.0t （125.0t）	168.0t （142.8t）	189.0t （160.7t）	210.0t （178.5t）	玄米 精米
2.4%	11.8%	38.2%	57.3%	71.6%	85.9%	100.3%	114.6%	128.9%	142.8%	
【3日間】	【16日間】	【52日間】	←－－－	市内公立小・中学校（全30校）への有機米学校給食提供日数						

これまでの有機農業関連予算

【令和元年度】 4，120千円

①田植機購入及び播種機購入　3,800千円
（千葉県「環境にやさしい農業」補助金活用・補助率1/2）
②学校給食費有機米差額分補填　320千円
（生産者から1俵2万円で購入）

【令和2年度】　5，500千円

①有機米の栽培技術の確立に向けた専門家の指導委託　1,500千円
②学校給食費有機米差額分補填　2,000千円
③木更津発オーガニックブランド創出事業　2,000千円
（有機JAS認証取得支援：ﾚｽﾄﾗﾝ2件、ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ6件、ﾚﾝｺﾝ1件、ﾊﾟｯｼｮﾝﾌﾙｰﾂ1件）

【令和3年度】 13，100千円

①有機米の栽培技術の確立に向けた専門家の指導委託　1,500千円
②学校給食費有機米差額分補填　7,600千円
③木更津発オーガニックブランド創出事業　600千円
（有機JAS認証取得支援：ﾚｽﾄﾗﾝ1件、お米3件）
④田植機購入及び水位計購入　3,400千円

令和4年度関連予算　15，200千円

①有機米の栽培技術の確立に向けた専門家の指導委託　1,000千円
②学校給食費有機米差額分補填　9,700千円
③木更津発オーガニックブランド創出事業　500千円
④みどりの食料システム戦略緊急対策事業費　4,000千円

- 検討会開催（農機具メーカー等民間参画）
- 有機米収量向上の実証（液肥購入・土壌診断キット購入）
- 大豆・さつまいもの有機的管理の実証
- 木更津東高校と有機農場との連携による新商品開発
- 学校給食自校炊飯実証　　etc